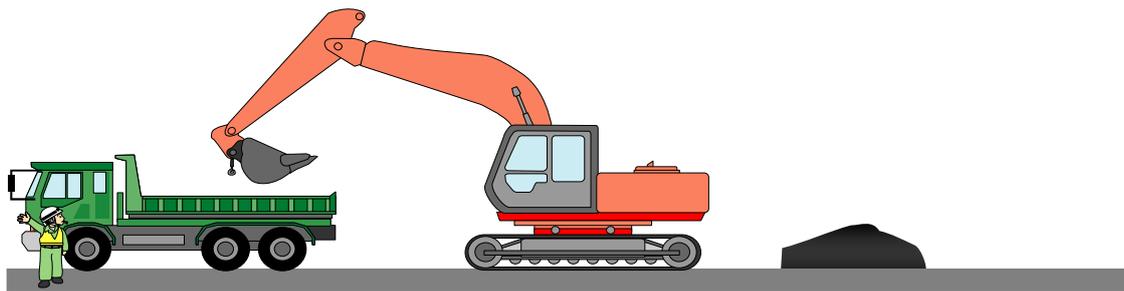


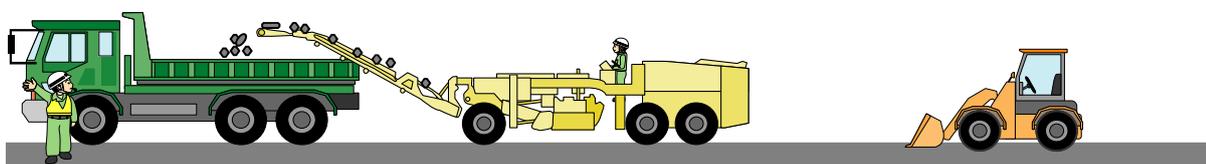
5. 舗装版取壊し工法の提案

1. 舗装版取壊し(バックホウ)作業を切削機を使用しての施工

【当初設計のイメージ図】



【提案のイメージ図】



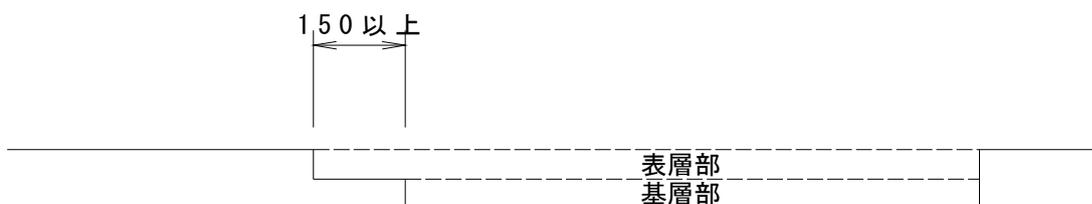
2. 切削機を使用しての工期とコストの検討

- ・当初の設計のバックホウにての取壊しでは、35m/日の施工量で250m \div 35m \div 7日かかるが、切削機を使用して施工すれば、125m/日の施工量で2日で基層工の施工が可能である。
- ・基層工を5日間短縮することで、切削機を使用する費用との比較検討をして、切削機を使用する。(労務費+機械費) \times 5日と切削機2日との対比
- ・交通規制時間・期間を短縮することで交通環境に対する影響を少なくし安全に作業できる。

6. 切削機を使用しての施工

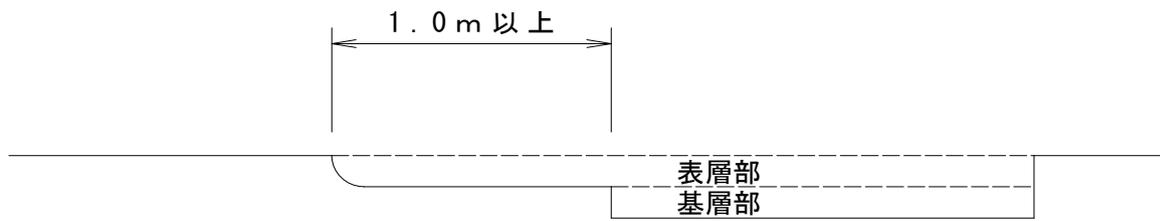
【縦断目地】

- ・切削機を使用し、下図のように基層、表層に15cm以上の位置がずれるように、切削する。

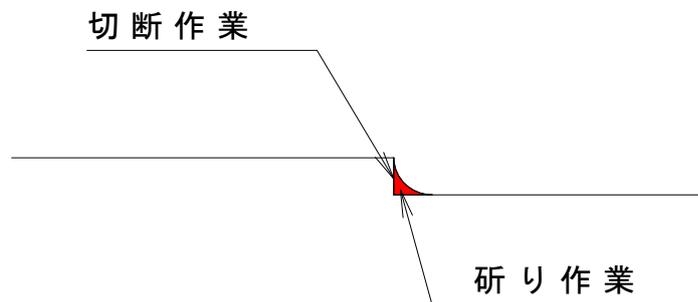


【横断目地】

・切削機を使用し、下図のように基層、表層に1.0m以上の位置がずれるように、切削する。



・表層工舗設・転圧時に、AS合材が移動しないように、切削機では削れなかった端部(下図参照)を、As切断作業、研り作業にてピン角にすることにより、擦り付け部の表層厚も5cmとなるようにし、既設舗装部との擦り付けをスムーズに仕上げる。



7. まとめ

- ・基層工2日、表層工での作業となり、交通規制による苦情、交通事故も無く無事故で施工する事ができた。
- ・出来形・品質管理も規格値の80%の社内規格値を設定し、満足のできる結果であった。
- ・打継目の起終点の取合いも走行時にスムーズに走行できた。
(平坦性試験も0.86mmとかなり良好であった)
- ・また、始業前のKYKミーティングで安全及びその日の施工範囲、施工要領を全員に熟知させることで各作業員が各々の役割を發揮することができました。
- ・地元の方々にもご協力して頂き、無事故で工期内に完成することができました。
(現場前の公民館の駐車場を工事車両駐車場に提供して頂いた。)
- ・最後に発注者に要望として、施工に合った工法の選出をお願いしたい。

【着手前】



【完成】

